



アセビ [馬酔木]

5本の樹

常緑 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

スズランに似た白い花をたくさんつける。ピンク色の花のアケボノアセビなど園芸品種も多数ある。日陰にも育ち、寄せ植えや根締め(樹の根元の植込み)に使われる。葉にアセボトキシンという成分をもち、馬が食べるとふらつくことから「馬酔木」と書いてアセビと読む。



緑葉



白花



蕾



実

Memo

ツツジ類は有毒のアルカロイドもつものが多く、草食動物に食べられことなく山野に群生する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期		■										
果	実									■			
紅	葉												
施	肥		■										
剪	定	■			■ (花後早めに)								

★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土壌	乾	○	○		湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強		○		弱
潮風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント

新梢が赤味や黄味を帯びる品種がある。これらの剪定は、芽の出る前がお薦め。翌年の花を新梢の先につけるので花芽を切らなくて済む。浅根性(根の張り方が浅い)のため地表の乾燥に注意する。

剪定

生長は比較的遅いが、萌芽力があり剪定や刈り込みに適応する。剪定は冬期に混み入った枝を透いて樹形を整える程度でまとまる。新梢に翌年の花をつけるので剪定時期に注意する。

病虫害

テッポウムシ(カミキリムシの幼虫)やボクトウガの幼虫が幹に穴をあけることがある。見つけ次第駆除する。グンバイムシやハダニの被害受けると葉が白っぽくなり樹勢が衰える。

呼べる蝶

ルリシジミ・アカタテハ・[ルリタテハ](#)
コツバメ・ヤクシマルリシジミ
シータテハ・エルタテハ
テングチョウ・[トラフシジミ](#)